



**KOBELCO**  
神戸製鋼グループ

**2016年度 第2四半期決算**

**2016年10月31日**

**代表取締役副社長執行役員  
梅原 尚人**





## 報告事項

1. 2016年度第2四半期決算
2. 2016年度業績見通し
3. 財務の状況
4. 中期計画の進捗状況
5. 参考情報



# 1. 2016年度第2四半期決算

---



ECOWAY

# 2016年度 第2四半期実績

(単位：億円)

	2015年度	2016年度		差異	
	上期	上期		対前年	対7月
	実績	7月公表	実績	③ - ①	③ - ②
	①	②	③		
売上高	9,286	8,500	8,151	△1,134	△349
営業損益	470	200	309	△160	+109
経常損益	330	50	123	△207	+73
(在庫評価影響を除く)	(405)	(155)	(238)	(△167)	(+83)
特別損益	△94	0	0	+94	±0
親会社株主に帰属する 四半期純損益	134	0	41	△93	+41



ECOWAY

# 第2四半期 セグメント別売上高

(単位：億円)

売 上 高	2015年度	2016年度		差異	
	上期	上期		対前年	対7月
	実績	7月公表	実績	③ - ①	③ - ②
	①	②	③		
鉄 鋼	3,385	3,000	2,903	△482	△97
溶 接	466	410	422	△44	+12
ア ル ミ ・ 銅	1,783	1,650	1,629	△154	△21
機 械	812	770	720	△92	△50
エンジニアリング	574	520	495	△78	△25
建 設 機 械	1,812	1,600	1,561	△251	△39
電 力	388	360	355	△33	△5
そ の 他	357	330	312	△44	△18
調 整 額	△294	△140	△250	+44	△110
合 計	9,286	8,500	8,151	△1,134	△349



ECOWAY

## 第2四半期 セグメント別経常損益

(単位：億円)

経常損益	2015年度 上期	2016年度 上期		差異	
	実績 ①	7月公表 ②	実績 ③	対前年 ③ - ①	対7月 ③ - ②
鉄鋼	△12	△110	△98	△86	+12
溶接	43	35	38	△4	+3
アルミ・銅	94	40	65	△28	+25
機械	28	25	37	+9	+12
エンジニアリング	26	△10	0	△26	+10
建設機械	19	△30	△5	△25	+25
電力	81	80	83	+2	+3
その他	33	15	20	△13	+5
調整額	16	5	△18	△34	△23
合計	330	50	123	△207	+73



## 2. 2016年度業績見通し

---



ECOWAY

# 2016年度 業績見通し

(単位：億円)

	2015年度	2016年度（7月公表）			2016年度			差異	
	実績 ①	上期	下期	年度 ②	上期	下期	年度 ③	対前年 ③－①	対7月 ③－②
売上高	18,228	8,500	8,800	17,300	8,151	8,749	16,900	△1,328	△400
営業損益	684	200	300	500	309	141	450	△234	△50
経常損益	289	50	150	200	123	△23	100	△189	△100
（在庫評価影響を除く）	(469)	(155)	(170)	(325)	(238)	(△13)	(225)	(△244)	(△100)
特別損益	△395	0	0	0	0	0	0	+395	±0
親会社株主に帰属する 当期純損益	△215	0	100	100	41	△41	0	+215	△100





ECO WAY

# 2016年度 セグメント別 売上高

(単位：億円)

売 上 高	2015年度	2016年度 (7月公表)			2016年度			差異	
	実績 ①	上期	下期	年度 ②	上期	下期	年度 ③	対前年 ③-①	対7月 ③-②
鉄 鋼	6,658	3,000	3,150	6,150	2,903	3,197	6,100	△558	△50
溶 接	922	410	420	830	422	388	810	△112	△20
アルミ・銅	3,454	1,650	1,650	3,300	1,629	1,571	3,200	△254	△100
機 械	1,590	770	830	1,600	720	850	1,570	△20	△30
エンジニアリング	1,317	520	750	1,270	495	755	1,250	△67	△20
建 設 機 械	3,362	1,600	1,550	3,150	1,561	1,489	3,050	△312	△100
電 力	767	360	340	700	355	345	700	△67	±0
そ の 他	745	330	440	770	312	448	760	+15	△10
調 整 額	△589	△140	△330	△470	△250	△290	△540	+49	△70
合 計	18,228	8,500	8,800	17,300	8,151	8,749	16,900	△1,328	△400



ECOWAY

# 2016年度 セグメント別 経常損益

(単位：億円)

経常損益	2015年度	2016年度(7月公表)			2016年度			差異	
	実績 ①	上期	下期	年度 ②	上期	下期	年度 ③	対前年 ③-①	対7月 ③-②
鉄鋼	△149	△110	△90	△200	△98	△202	△300	△151	△100
溶接	81	35	35	70	38	27	65	△16	△5
アルミ・銅	151	40	80	120	65	35	100	△51	△20
機械	67	25	15	40	37	8	45	△22	+5
エンジニアリング	46	△10	40	30	0	25	25	△21	△5
建設機械	△119	△30	20	△10	△5	△5	△10	+109	±0
電力	174	80	70	150	83	67	150	△24	±0
その他	73	15	60	75	20	50	70	△3	△5
調整額	△36	5	△80	△75	△18	△27	△45	△9	+30
合計	289	50	150	200	123	△23	100	△189	△100

# 【鉄鋼】

(単位：億円)

	2016年度（7月公表）			2016年度			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ② - ①
売上高	3,000	3,150	6,150	2,903	3,197	6,100	△50
経常損益	△110	△90	△200	△98	△202	△300	△100
(内 在庫評価影響)	(△65)	(△10)	(△75)	(△75)	(0)	(△75)	(±0)

## 2016年度の状況

- 原料炭価格の高騰により、大幅な減益を見込むが、鋼材販売価格への転嫁に取り組む。
- 生産、販売数量は概ね前回想定通り。
- 加古川製鉄所の高炉改修、上工程集約のコストは前回想定通り。



ECOWAY

# 【鉄鋼】生産・販売状況

	2015年度			2016年度	
	上期	下期	年度	上期	年度
全国粗鋼 (万t)	5,206	5,217	10,423	5,254	
全国在庫水準 (万t)	579	550	--	566	8月末
薄板3品在庫水準 (万t)	421	411	--	406	8月末
国内自動車生産台数 (万台)	445	474	919	357	4-8月計

## <当社>

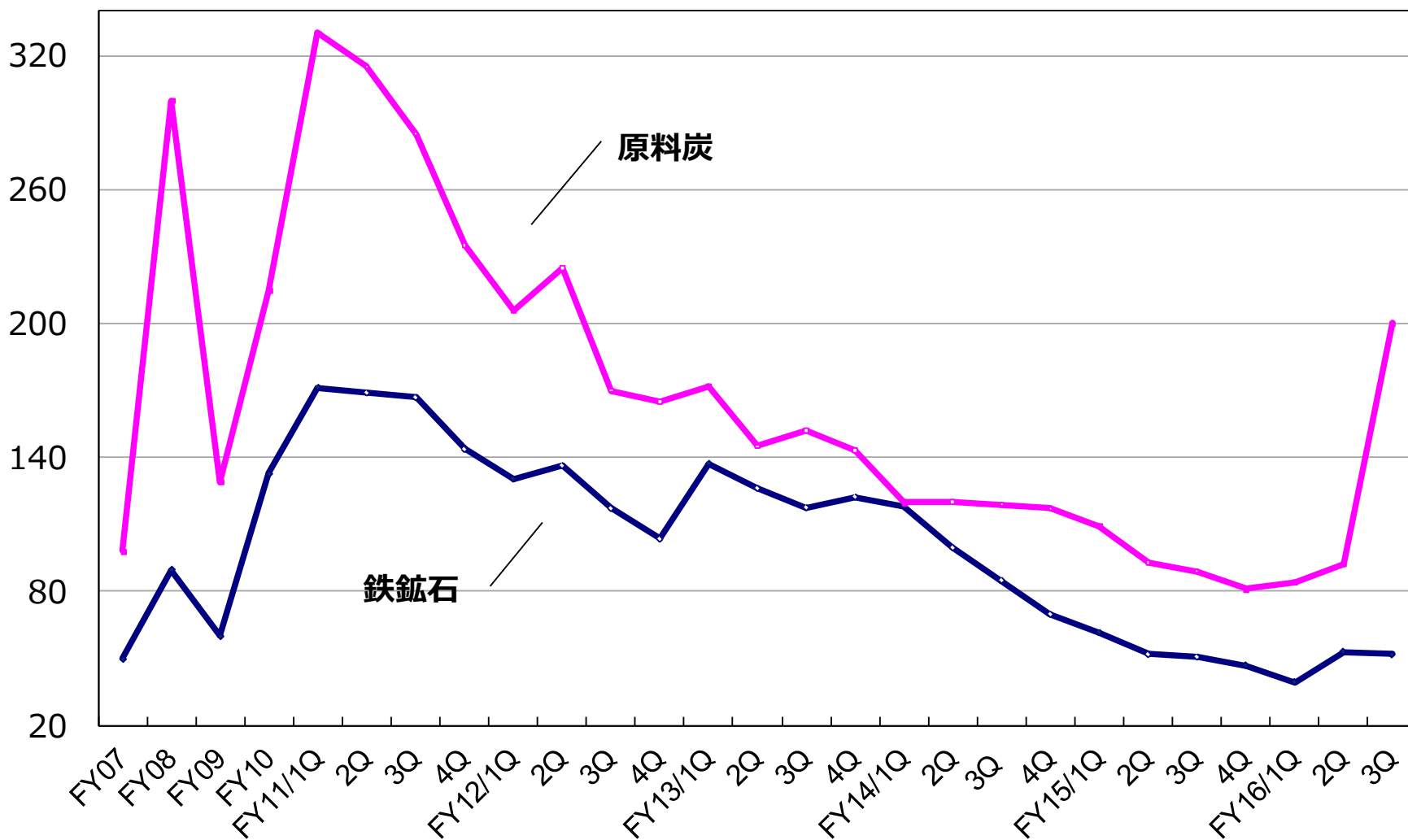
粗鋼生産 (万t)	367	381	748	384	720程度
鋼材販売量 (万t)	297	303	600	292	600程度
(内国内)	(197)	(211)	(408)	(202)	
(内海外)	(100)	(93)	(193)	(90)	
鋼材販売単価 (千円/t)	78.7	71.8	75.2	68.0	
鋼材輸出比率 (金額ベース)	34.2%	30.0%	32.2%	29.5%	



ECO WAY

# 【鉄鋼】鉄鉱石と原料炭（強粘炭） 価格推移

(単位：\$/トン)

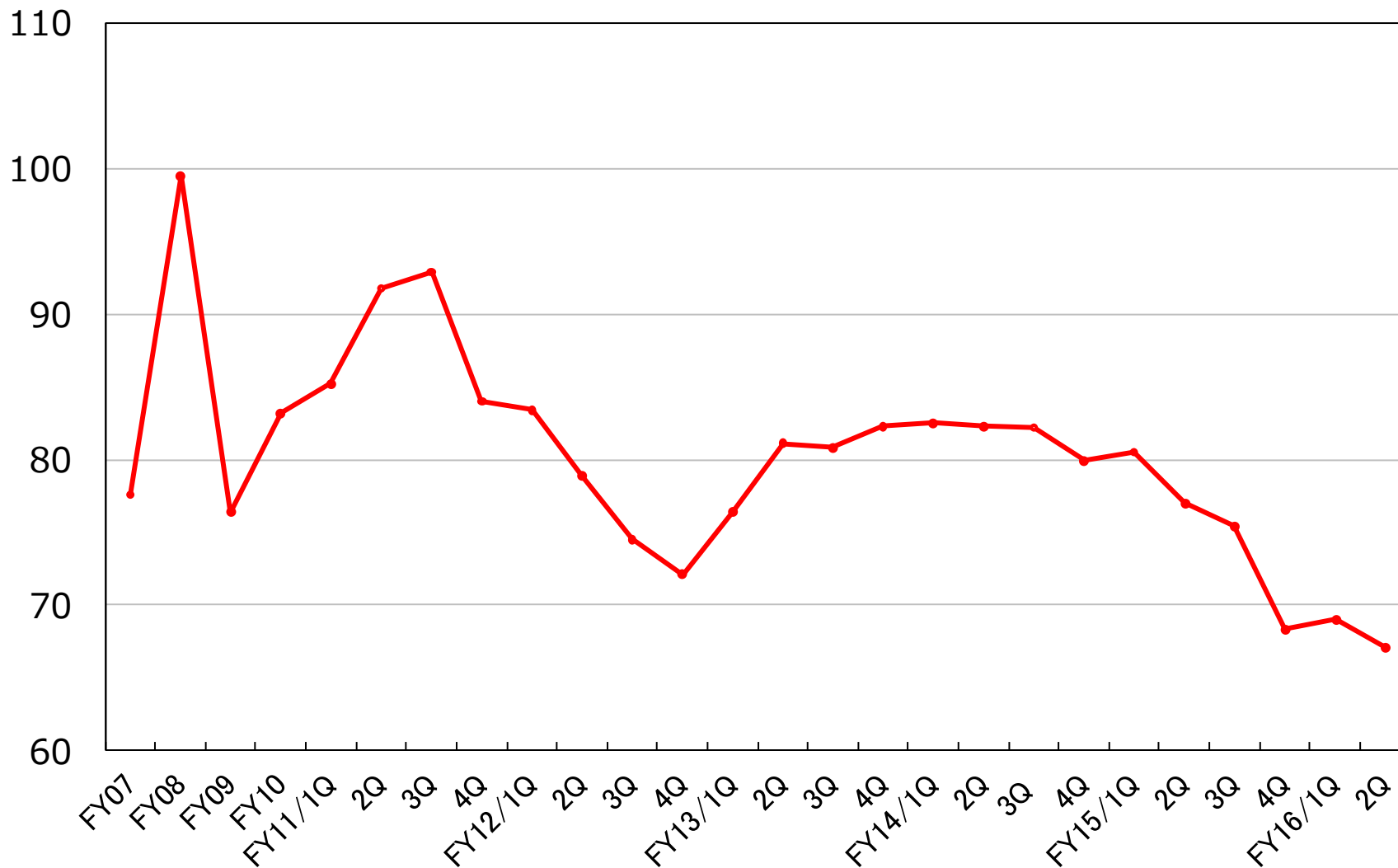




ECO WAY

## 【鉄鋼】鋼材単価の推移

(単位：千円/トン)





ECOWAY

# 【溶接】

(単位：億円)

	2016年度 (7月公表)			2016年度			差異 年度 ②-①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	410	420	830	422	388	810	△20
経常損益	35	35	70	38	27	65	△5

## ＜当社の販売状況＞

(単位：千t)

	2015年度			2016年度
	上期	下期	年度	上期
国内	66	63	129	62
海外	87	87	174	89
合計	153	150	303	151

## 2016年度の状況

- 溶接材料の国内外の需要低迷により、減益を見込む。

# 【アルミ・銅】

(単位：億円)

	2016年度（7月公表）			2016年度			差異 年度 ②－①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,650	1,650	3,300	1,629	1,571	3,200	△100
経常損益	40	80	120	65	35	100	△20
(内 在庫評価影響)	(△40)	(△10)	(△50)	(△40)	(△10)	(△50)	(±0)

## <当社の販売状況>

(単位：千t)

	2015年度			2016年度
	上期	下期	年度	上期
アルミ圧延品 国内	140	137	277	155
輸出	33	36	69	31
銅板条	25	24	49	26
銅管	42	43	85	45

## 2016年度の状況

- 自動車向け販売は堅調に推移。
- 飲料用缶材、ディスク材の販売数量減少により減益を見込む。





ECO WAY

**【機械】**

(単位：億円)

	2016年度（7月公表）			2016年度			差異 年度 ②－①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	770	830	1,600	720	850	1,570	△30
経常損益	25	15	40	37	8	45	+5
受注高	－	－	1,400程度	558	740程度	1,300程度	△100程度

**2016年度の状況**

- 原油安を背景としたエネルギー関連需要の低迷、円高による厳しい受注環境が継続するものの、コストダウン等による損益の底上げを見込む。



ECOWAY

# 【エンジニアリング】

(単位：億円)

	2016年度（7月公表）			2016年度			差異 年度 ②－①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	520	750	1,270	495	755	1,250	△20
経常損益	△10	40	30	0	25	25	△5
受注高	－	－	1,450程度	806	540程度	1,350程度	△100程度

## 2016年度の状況

- 一部の震災復興案件の時期ずれを除き、当初想定していた還元鉄プラント及び国内の廃棄物処理施設等の大型案件の受注は計画通り。
- コストアップによる採算悪化等により、損益悪化を見込む。



ECO WAY

**【建設機械】**

(単位：億円)

	2016年度（7月公表）			2016年度			差異 年度 ②－①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,600	1,550	3,150	1,561	1,489	3,050	△100
経常損益	△30	20	△10	△5	△5	△10	±0

**2016年度の状況**

- 中国ショベル事業で需要回復の兆しが見られる一方、引き続き事業の健全化を優先し、販売条件を厳格化して営業活動に取り組む。
- 中国ショベル事業の健全化に向けて、最適な生産体制、販売体制の構築を検討中。



ECO WAY

# 【電力】

(単位：億円)

	2016年度（7月公表）			2016年度			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ②－①
売上高	360	340	700	355	345	700	±0
経常損益	80	70	150	83	67	150	±0

## 2016年度の状況

- 引き続き安定操業を継続。



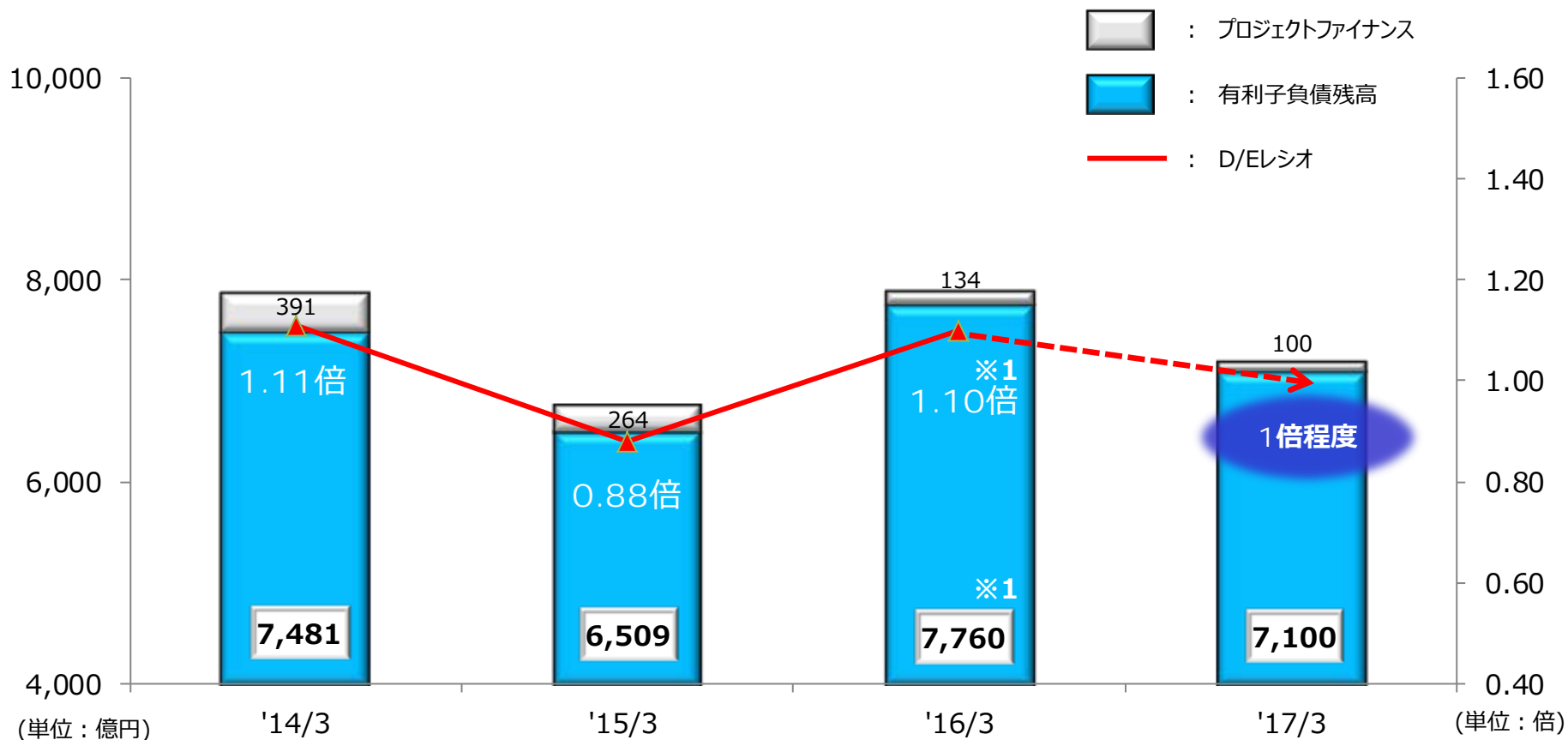
## 3. 財務の状況

---



ECO WAY

# 【財務の状況】



※1：2016年度分借入金の前倒し調達（900億円）含む  
前倒し調達除く2015年度D/Eレシオ 0.97倍



ECOWAY

# 【フリーキャッシュフロー】

(単位：億円)

	2015年度	2016年度 (7月公表)			2016年度			差異
	実績	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ②-①
営業キャッシュフロー	858	650	550	1,200	741	309	1,050	△150
投資キャッシュフロー	△1,038	△750	△850	△1,600	△610	△940	△1,550	+50
プロジェクトファイナンス除く フリーキャッシュフロー	△180	△100	△300	△400	131	△631	△500	△100
プロジェクトファイナンス 返済原資	113	50	0	50	34	66	100	+50
プロジェクトファイナンス含む フリーキャッシュフロー	△67	△50	△300	△350	165	△565	△400	△50
プロジェクトファイナンス除く 現預金残高	1,685	1,900	700	/	2,136	600	/	△100



ECOWAY

**(余 白)**





## 4. 中期計画の進捗状況

---



ECOWAY

## 【3本柱の事業成長戦略】

### 素材

- I 輸送機軽量化への取組み
- II 鉄鋼事業の収益力強化

2017年下期に上工程設備を加古川製鉄所へ集約

- ・ 設備発注、建設工事など全体的に予定通り進捗
- ・ 上工程集約に伴い必要となる需要家の再承認取得を推進

### 機械

- I エネルギー・インフラ分野への取組み
- II 建設機械事業の収益力強化

中国ショベル事業の再構築

- ・ 最適な生産体制、販売体制の構築を検討中

### 電力

**電力供給事業の安定収益化への取組み**



ECO WAY

## 【3本柱の事業成長戦略】 成長分野への取組み

輸送機軽量化への取組み

分野	案件	地域	概要	時期
自動車	特殊鋼・普通鋼線材圧延・販売合併会社 (Kobelco Millcon Steel Co., LTD)	タイ	海外初の線材圧延拠点 拡大が見込まれる東南アジアの自動車生産需要を捕捉	2015年9月 普通鋼製造開始 2017年5月 特殊鋼製造開始 予定
	CHワイヤー（鋼線）の製造・販売合併会社 (Kobelco CH Wire Mexicana, S.A. de C.V.)	メキシコ	現地自動車部品メーカーへ品質に優れた製品を迅速に納入	2016年10月 稼働開始
	自動車用冷延ハイツ製造・販売会社 (鞍鋼神鋼冷延高張力自動車鋼板有限公司)	中国	中国での環境対応への取組み強化 日・米・欧・中での「薄板ハイツのグローバル供給体制」整備	2016年2月 稼働開始
	自動車パネル用アルミ板材製造・販売会社 (神鋼汽車鋁材（天津）有限公司)	中国	日系アルミ圧延メーカー初の中国におけるパネル材生産拠点	2016年4月 稼働開始
	自動車向けアルミ押出材製造・販売会社 (Kobelco Aluminum Products & Extrusions Inc.)	米国	米国での燃費規制への対応強化 日・米両極でのアルミ押出・加工品の供給体制確立	2016年8月 建設開始 2017年後半 稼働予定
航空機	エアバス向けチタン大型鍛造品の量産供給開始	—	日本で初めて着陸装置用チタン大型鍛造品の開発・量産に成功	2016年7月 量産供給開始
船舶	船舶用鋳鍛鋼部品における新技術、製品の認証・開発	—	船舶向けに高強度な軽量部材を提供 船舶の燃費改善に貢献	2016年10月 認証・開発



ECO WAY

# 【3本柱の事業成長戦略】 成長分野への取組み

エネルギー・インフラ分野への取組

分野	案件	地域	概要	時期
圧縮機	新型オイルフリー式汎用空気圧縮機の販売開始	—	世界最高クラスのエネルギー効率と低騒音を実現	2016年10月 販売開始
	LNG船向け非汎用スクリュ式圧縮機の受注	—	船用二元燃料焚きエンジン向けに世界初の「スクリュ式」圧縮機を受注	2016年10月 受注 2017年8月 納入予定
建設機械	油圧ショベル新工場 (Kobelco Construction Machinery U.S.A. Inc.)	米国	北米ユーザー向けの生産リードタイム圧縮、市場ニーズへの対応力強化	2016年3月 操業開始
	国内向け超大型クローラークレーンの開発・販売開始 (最大つり上げ能力1,250トン)	—	超大型クローラークレーン需要の高まりに対応した国産最大級クローラークレーンの供給	2016年5月 販売開始
エンジニアリング	放射性廃棄物処理に関する合併会社設立 (コベルコ スタズビック株式会社)	日本	国内原子力発電所の廃炉等の課題に対して安全な放射性廃棄物処理技術・プロセスを提供	2016年4月 合併契約締結
	MIDREX直接還元鉄プラントの新規受注	アルジェリア	世界最大クラスとなる年産能力250万トン 同国産業の発展に貢献	2016年6月 受注 2018年11月 稼働予定
	エネルギー回収型ごみ処理施設運営事業を受注	日本	当社初の流動床式ガス化燃焼炉採用 次世代型焼却炉で施設のコンパクト化、発電量の最大化、環境負荷軽減に貢献	2016年6月 受注 2016年～2019年 設備建設 2019年～2039年 設備運営

電力事業

分野	案件	地域	概要	時期
電力	真岡発電所 (㈱コベルコパワー真岡)	日本	国内初の本格的な内陸型発電所として国内最高レベルの効率で発電 発電規模:124.8万kW (62.4万kW×2基)	2016年6月 建設開始 2019年後半 1号機稼働予定
	神戸製鉄所火力発電所	日本	最新鋭の発電技術である超々臨界圧発電設備での発電 発電規模:130万kW (65万kW×2基)	2021年度 1号機稼働予定



## 4. 参考情報

---



ECOWAY

## 【設備投資の状況】

(単位：億円)

	2013年度	2014年度	2015年度 ①	2016年度 ②	差異 ②－①
設備投資<計上>	1,014	1,035	1,099	1,750	+651
対減価償却費	122%	115%	116%	175%	+59%
設備投資<支払い>	954	953	991	1,650	+659
対減価償却費	115%	106%	105%	165%	+60%
減 価 償 却 費	829	898	948	1,000	+52



ECOWAY

## 【財務指標】

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 上期
R O S ※1	4.7%	5.4%	1.6%	1.5%
1株あたり当期純利益 ※2	226.28円	238.19円	△59.34円	11.31円
D / E レシオ ※3	1.11倍	0.88倍	※4 1.10倍	1.19倍
R O A ※5	3.8%	4.4%	1.3%	※7 1.1%
R O E ※6	11.9%	12.0%	△2.9%	※7 1.2%

※1：売上高経常利益率

※2：当社は2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株に併合する株式併合を実施。  
2015年度以前も株式併合を前提として算定

※3：D/Eレシオ＝有利子負債（IPPプロジェクトファイナンス含まない）／自己資本（15年度は株主資本）

※4：2016年度分借入金の前倒し調達（900億円）含む  
前倒し調達除く2015年度D/Eレシオ：0.97倍

※5：経常損益/総資産

※6：親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本

※7：利益は年率換算



ECOWAY

**(余 白)**



# 全社 差異内訳 (2015年度上期⇒2016年度上期)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	330	△41	289	123	△23	100

△ 207

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 175	生産・出荷	△ 255
総コスト	+ 20	Alミ・銅在庫評価影響	△ 40
鉄鋼在庫評価影響	± 0	連結子会社・持分法	△ 100
鉄鋼為替影響	+ 25	その他	△ 32
合計	+ 220	合計	△ 427

# 鉄鋼 差異内訳 (2015年度上期⇒2016年度上期)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△12	△137	△149	△98	△202	△300

△ 86

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 175	生産・出荷	△ 250
総コスト	+ 25	その他	△ 61
在庫評価影響	± 0		
為替影響	+ 25		
合計	+ 225	合計	△ 311

# 全社 差異内訳 (2016年度上期 7月公表 ⇒ 実績)

(単位：億円)

	2016年度 (7月公表)			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	50	150	200	123	△23	100

+ 73

増益要因			減益要因		
原料価格	+	10	生産・出荷	△	5
総コスト	+	60	鉄鋼在庫評価影響	△	10
アルミ・銅在庫評価影響	±	0	その他	△	28
連結子会社・持分法	+	46			
鉄鋼為替影響	±	0			
合計	+	116	合計	△	43

# 鉄鋼 差異内訳 (2016年度上期 7月公表 ⇒ 実績)

(単位：億円)

	2016年度 (7月公表)			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△110	△90	△200	△98	△202	△300

+ 12

増益要因		減益要因	
生産・出荷	± 0	在庫評価影響	△ 10
原料価格	+ 10	その他	△ 18
総コスト	+ 30		
為替影響	± 0		
合計	+ 40	合計	△ 28

# 全社 差異内訳 (2015年度 ⇒ 2016年度)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	330	△41	289	123	△23	100

△ 189

増益要因		減益要因	
総コスト	± 0	生産・出荷	△ 260
鉄鋼在庫評価影響	+ 70	原料価格	△ 25
連結子会社・持分法	+ 35	Alミ・銅在庫評価影響	△ 15
鉄鋼為替影響	+ 60	その他	△ 54
合計	+ 165	合計	△ 354



ECOWAY

# 鉄鋼 差異内訳 (2015年度 ⇒ 2016年度)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△12	△137	△149	△98	△202	△300

△ 151

増益要因			減益要因	
総コスト	+	25	生産・出荷	△ 245
在庫評価影響	+	70	原料価格	△ 25
為替影響	+	60	その他	△ 36
合計	+	155	合計	△ 306

# 全社 差異内訳 (2016年度 7月公表 ⇒ 今回)

(単位：億円)

	2016年度 (7月公表)			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	50	150	200	123	△23	100

△ 100

増益要因			減益要因	
生産・出荷	+	70	原料価格	△ 155
総コスト	+	40	連結子会社・持分法	△ 30
鉄鋼在庫評価影響	±	0	その他	△ 25
アルミ・銅在庫評価影響	±	0		
鉄鋼為替影響	±	0		
合計	+	110	合計	△ 210

# 鉄鋼 差異内訳 (2016年度 7月公表 ⇒ 今回)

(単位：億円)

	2016年度 (7月公表)			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△110	△90	△200	△98	△202	△300

△ 100

増益要因			減益要因	
生産・出荷	+	90	原料価格	△ 155
総コスト	+	15	その他	△ 50
在庫評価影響	±	0		
為替影響	±	0		
合計	+	105	合計	△ 205

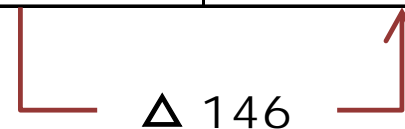


# 全社 差異内訳 (2016年度 上期⇒下期)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	330	△41	289	123	△23	100

△ 146



増益要因			減益要因		
生産・出荷	+	50	原料価格	△	205
鉄鋼在庫評価影響	+	75	総コスト	△	55
アルミ・銅在庫評価影響	+	30	その他	△	76
連結子会社・持分法	+	35			
鉄鋼為替影響	±	0			
合計	+	190	合計	△	336



ECOWAY

# 鉄鋼 差異内訳 (2016年度 上期⇒下期)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△12	△137	△149	△98	△202	△300

△ 104

増益要因			減益要因		
生産・出荷	+	60	原料価格	△	205
在庫評価影響	+	75	総コスト	△	45
為替影響	±	0			
その他	+	11			
合計	+	146	合計	△	250



## 企業理念

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

以上の理念の下、グループ全体としての企業価値を向上させます。

## 将来見通しに関する注意事項

- **本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。**
- **上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。**
  - － 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
  - － 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - － 為替相場の変動
  - － 原材料の Availability や市況
  - － 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
  - － 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化